

## 「ロアッソ熊本の日常を支えるSA」

2019年7月14日（日）J3リーグ第16節 観衆5093名

ロアッソ熊本 VS カターレ富山 19:00KO 天候 雨と曇り交互



↑石垣の崩れた跡が残る熊本城戌亥櫓



↑九州だJ クラブマスコット集結



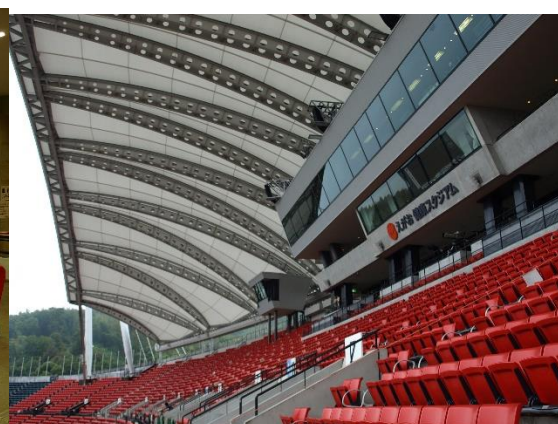
↑私がお世話になった総合案内 写真①



↑試合前のミーティング



↑関係者受付 写真②



↑メインスタンド

## 1、柏のスタンドで「HIKARI」を聞きながら

「あの日」私は初めて聞いた「HIKARI」の流れる静まり返ったアウェイスタンドでゴミ拾いをしていました。それから必ず熊本に行くぞと思いながら…

2016年5月22日、ロアッソ熊本の熊本地震後初のホームゲームが1000km以上も離れた千葉県の柏で開催されることになり、柏レイソル後援会ボランティア部会からお誘いのメールがあり、バックスタンドで柏、水戸（対戦相手でもある）、栃木SCの皆さんと座席チェックの活動をしていました。Jリーグの公式戦で出場しないクラブのユニフォームを着たサポーターだらけを見たのは初めてで、まるでオールスターゲームでした。今日の試合はどのクラブのサポーターも関係なく熊本を応援していると感じました。そしてこのような未曾有の自然災害等が起きると、その地域のスポーツクラブ（＝だけに限りませんが）の存在が大きな役割を果たし、リーグ全体が後押ししていると感じました。「日本もまだ棄てたものじゃないな」と痛感した一日でした。

## 2、設営からスタート

KO4時間半前の14時30分全員で数分のミーティング後、設営が開始されました。ロアッソでは試合前日にボランティアとクラブ社員が設営をするのですが、前日にイベントがあり、設営を当日にするためいつもより慌ただしくなるとのことでした。ここでロアッソ熊本スタジアムアテンダント（以下SA）について紹介いたします。（マニュアル、配置表を参考にしています）

主な業務は「総合案内所（写真①）」「関係者受付（写真②）」「チケット販売」「席案内…各入場口での席種確認」「グッズ販売」がメイン

「準備から終礼まで」「準備からKO15分前まで」「準備から試合終了まで」「準備からKO15分前まで・試合終了から終礼まで」の4シフトを希望できる。

まずは、今回お世話になったSA副会長のKさんらと一緒に倉庫からコーン、バー、長テーブルを倉庫から集め台車に乗せ、必要な場所に置いておくまでが本来は前日設営の業務でしたが、本日実施しました、その後各ポジション担当者がテントを含め設営をするという段取りです。

## 3、「タクシーの手配まで 多様な総合案内所の活動業務」

本日は総合案内所専任での活動でした。サイン会の整理券配布、メンバー表の配布（以上はシーズンシート・ファンクラブ特典）、迷子・落とし物・病人等対応、チケットのアップグレード対応、スタジアムグルメ購入者の抽選券の受付、スタジアムグルメの出店業者との対応、さらにはタクシーの手配など多様です。しかし、アウェイサポーター以外ほと

んどの方は「自分の庭」なので、当日限定のイベント等を除き「聞かれる」ことがほとんどないのが特長です。休憩時にはスポンサーの選べるお弁当をいただき、試合終了前に各選手のバナーを外し、総合案内所の撤収、さらにはグッズ売り場の撤収作業中でしたが、22時に終礼  
全員で勝ち点3と3本指を立て記念撮影、解散となりました。

#### 4、「ロアツソ通信」

SAの活動申込みは「伝助」というサイトを使い、活動の可否を伝えます。SAのメンバーは数日前から誰がどのシフトで活動するか、あるいは休みなのか分かる仕組みです。当日は43名の活動（一日体験の大学生、席案内の高校生を含まず）でした。規模や活動内容は平均的な感じでした。特筆すべき点は（少なくとも専門職である総合案内所においては）メンバーは大分同様固定されているようで、手慣れた感じで通常の試合と異なるところだけをインプットしながら活動されていました。メンバーの皆さんの「出勤率」がとても高いことに驚きました。平日の試合には会社を休んで活動に行ったり、夜勤明けに活動に行ったりしてもそれを特に自慢するわけでもなく… 頭の下がる思いであるのと、企業も認める文化、懐の広さが熊本にはあるのではないかと思います。地元の祭りがあるので休暇申請をする。「(人手不足等だったとしても)祭りなら仕方ないな」といった感じでしょうか。大都市部ならありえない気がします。

また毎試合後にSA事務局作成の「ロアツソ通信」がメールで送られて来ました。「〇〇さんのアウェイ訪問記」「〇〇さんからトマトの差し入れです」「前回のホームゲームの集合写真」など、細かいところまで掲載されていて、最新号には私の記事も掲載されていました。またBBQ、忘年会以外にもホームゲーム終了後に茶和会も今シーズン3回行われるようです。総合案内所のSAと来場者も顔なじみであるのが珍しい光景でなく、他のポジションや他部署のクラブ社員、出店業者ともこんな感じであり、距離の近さを感じました。かといってナアナアになっているようにも感じず、バランスが取れているのでしょう。

その反面「SAの新人の定着率が良くなく、長く続けている方とすぐに辞めてしまう方の差が激しい」という話も伺いました。これは全国的な傾向かと思いますが、中には「時間の空いた時に気軽に活動したい」と思っている方も少なくないはずです。そのような方にはハードルが高く定着が難しいのではないかと思います。

#### 5、「危機管理に備えたクラブと穏やかなサポーター」

SAマニュアルには「熱中症になったときには」「雷雨時・テロ時・地震時緊急避難場所の地図」「災害時管理組織図」もきちんと明記されていました。熊本地震の経験もあったとは思いますが、ここまで危機管理に備えていてボランティアに伝えているクラブは他にないと思います。

ご年配の方が地元の祭りを見に行くような穏やかな感じで来場されているのが印象的で

した。メインゲート前にいたことも影響していたかもしれませんが、全般的にお客様はおとなしく観戦されているような気がしました。熊本の方々にとってロアツソはとても身近で日常的な存在のように感じました。地元のクラブを温かく見守りながら応援しているように感じ、それがS Aに受け継がれていっているように感じました。今回の熊本訪問をより多くの方に発信していきたいと思います。

翌日は石垣が地震当時のままの熊本城を K さんに案内してもらい、梅雨の中休みの火の国を跡にしました。今度はロアツソが関東遠征に来るときまた伺いたいと思いました。K さんはじめ皆さんありがとうございました。